

2010年度

| | | | |
|---|---|-----|-------|
| 科目名 | 養護原理 I | | |
| 担当教員 | 農野 寛治 | | |
| 配当 | 教福2 | コード | 54310 |
| 開期 | 後期 | 講時 | 金曜日4限 |
| | | 単位数 | 2 |
| 授業テーマ | 保育所以外の児童福祉施設における子どもたちの養護に関して体系的な理解を持つ。 | | |
| 目的と概要 | <p>児童養護施設等を中心に、施設に入所して生活する子どもたちの社会的な保護と養育の仕組みを骨子に、そこで展開されるさまざまな支援のあり方を考えることを目標とする。また、近年社会問題として顕在化している「児童虐待」への対応や、「施設内虐待」の問題についても言及する。施設で保護される子どもたちにかかわる専門職が持つべき価値や知識、そして方法について体系的に理解するための授業を行う。</p> | | |
| 成績評価法 | 受講態度・筆記試験等によって総合的に評価する。 | | |
| テキスト | <p>テキスト 保育士養成テキスト5『養護原理』農野・合田 編ミネルヴァ書房</p> | | |
| 参考書 | | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | <p>子どもの福祉領域としての養護問題は、教育にとっても重要なテーマなので、教員志望の学生も、ぜひ受講して欲しい。</p> | | |
| 講義計画 | | | |
| <p>1) 児童養護の概念 (1) 家庭や社会の役割 △家庭の価値、社会的代替・支援・補完サービス</p> <p>2) 児童養護の概念 (2) 社会的養護を必要とする子どもたち △現代の養護問題</p> <p>3) 児童養護の概念 (3) 児童養護の歴史 △明治期以降の取り組み</p> <p>4) 児童養護の概念 (4) 児童養護の体系(施設、里親) △養護問題支援のプロセス、制度と動向</p> <p>5) 施設における児童養護 (1) 施設養護の特質 △社会的代替養護と子どもの権利</p> <p>6) 施設における児童養護 (2) 施設養護の基本原則 △個別化、親子関係の尊重と調整、集団の活用…</p> <p>7) 施設養護の実際 (1) 日常生活及び自立に向けての援助 △生活の構成と援助、アドミッションケアからアフターケア、計画的支援</p> <p>8) 施設養護の実際 (2) 治療的・支援的援助 △心の傷を癒す、心性を育む、障がいを支えるための援助</p> <p>9) 施設養護の実際 (3) 親子関係、学校、地域などとの関係調整 △関係諸機関とその連携</p> <p>10) 児童福祉施設の運営・管理と援助者 (1) 援助(養護)の理念 △自立支援と権利擁護、施設内虐待の予防</p> <p>11) 児童福祉施設の運営・管理と援助者 (2) 児童福祉施設の運営・管理 △運営費と組織、各種の専門職によるチームワーク</p> <p>12) 児童福祉施設の運営・管理と援助者 (3) 児童福祉施設援助者の役割と資質 △各種の専門職と果たすべき役割、求められる資質</p> <p>13) 児童福祉施設の運営・管理と援助者 (4) 個別援助技術や集団援助技術などの専門的技術 △支援の実際</p> <p>14) 児童福祉施設の運営・管理と援助者 (5) 資質、力量の向上 △スーパービジョンとOJT、Off-JTの研修体制</p> <p>15) 児童福祉施設の運営・管理と援助者 (6) 倫理の確立・今後の課題</p> | | | |